「広島へ行って」

長久手中学校　二年　青木　美侑

私は、長久手市から選ばれた代表の一人として、中学生広島平和体験学習に参加してきました。

初めて行った広島でまず思ったことが、「原子爆弾が落ちたのに、生き残った人々が努力してまちを復興させ、その結果、長久手市より都会になったんだな」と思いました。

私は、原爆ドームを見た瞬間、言葉をなくしました。自分の想像以上に悲惨だったからです。その後、広島平和記念公園に三校の中学校が折った千羽鶴を捧げました。

二十分ほど休憩したら次に広島平和記念資料館に行きました。

資料館には、原子爆弾の被害でボロボロになったレンガやかみの毛やつめ、ひふなどがおいてありました。中でも印象にのこっているのは、「人影の石」です。あまりの恐ろしさにおもわず息をのみました。「人影の石」

20 × 20

には階段に腰掛けていた人の影が映っていました。

今回の体験は、私にとって良い経験になりました。また、いい勉強にもなりました。

20 × 20